

令和 6 年度地方公共団体実行計画策定研修

事前課題説明資料

環境省環境調査研修所

令和6年10月7日（月）～10月11日（金）

本研修は、環境省地域脱炭素政策調整担当参事官室が、環境省業務「地域脱炭素ステップアップ支援事業」委託事業者である有限責任監査法人トーマツとともに運営します。

研修での理解を深めるために、次の事前課題に対応してください



本研修では、研修期間内に「簡易的な地方公共団体実行計画（区域施策編）」を策定することを一つの目標としております。
限られた時間で多くの研修内容を予定しておりますので、研修に積極的に参加し研修期間内に貴市町村の「簡易的な地方公共団体実行計画（区域施策編）」の策定ができるように、以下の事前課題にご対応ください。

No.	課題	P.	所要時間の目安
①	貴市町村における既存の取組を整理する	4	45分
②	貴市町村の特徴を把握する	6	40分
③	貴市町村のCO2排出量の傾向を把握する	9	30分
④	事前アンケートに回答する	12	5分

課題①～③については、●月●日までに文章を修正した「区域施策編（ひな形）」（別添）及び「施策整理シート」のファイル名に貴市町村の自治体名を追加した上で、下記メールアドレスに提出してください。

メールで資料を提出する際は、件名は以下としてください：
【R6年度実行計画策定研修】事前課題の提出

事前アンケートは●月●日までにアンケートフォームよりご回答ください（P11参照）。

余力があれば、以下の追加課題もご提出ください。

No.	追加課題	P.
①	都道府県の動向を把握する	13
②	貴市町村の地域課題を把握する	14

質問等がございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください：



事前課題の前提として、まずは環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」をご一読ください

下記のURLから「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」をダウンロードし、ご一読ください。

環境省「策定・実施マニュアル・ツール類 | 区域施策編」:

https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/manual3.html

研修に向けた一読については
策定マニュアルの簡易版で
構いませんが、余裕のある方は
本編もご覧ください。

①

環境省
Ministry of the Environment

本文へ | 印刷・読み上げ・文字拡大 | お問い合わせ | サイトマップ | Google 検索

トップ | 概要・沿革 | 策定・取組状況 | 取組事例 | **策定・実施マニュアル・ツール類** | 各種お知らせ | よくある質問 | 国の財政支援等 | 支援システム (LAPSS) | 関連サイト

ホーム > 政策 > 政策分野一覧 > 地域政策 > 地方公共団体実行計画 > 地方公共団体実行計画策定・実施支援サイトトップページ > 策定・実施マニュアル・ツール類 | 区域施策編

策定・実施マニュアル・ツール類 | 区域施策編

課題解決のためのツールマップ

施行状況調査等で挙げられた課題と、その課題の解決に役立つツールが分かるマップを作成しました。

事務事業編
(都道府県・市区町村・地方公共団体の組合用)

区域施策編
(都道府県・市区町村用)

マニュアル・ツール一覧

事務事業編		区域施策編		<地域脱炭素化促進事業編>	
マニュアル	ツール	マニュアル	ツール	マニュアル	ツール

②

マニュアル類

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（本編）」（令和6年4月） [PDF: 11.3MB]

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（本編）」HTML版 ※準備中

地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定・改定及び実施について、基本的な考え方や手順等をマニュアルとして取りまとめています。

（4月1日）地方公共団体実行計画（区域政策編）策定・実施マニュアル（本編）（令和6年4月）を改定しました。

[マニュアルの主な改定箇所説明資料（令和6年4月）](#) [PDF: 216KB]

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）」（令和6年4月） [PDF: 11.2KB]

区域の温室効果ガス排出量の推計や削減目標の設定等に係る方法論について取りまとめました。

（4月1日）地方公共団体実行計画（区域政策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）（令和6年4月）を改定しました。

[マニュアルの主な改定箇所説明資料（令和6年4月）](#) [PDF: 359KB]

「地域主導の再エネ・地域脱炭素に関する取組事例集」（令和6年4月） [PDF: 7.94MB]

地域の事業者や住民、行政が協力して推進しており、脱炭素のみならず地域に多様なメリットをもたらしている事例を紹介しています。事例別に事業の経緯、実施プロセス、事業の効果等を整理しています。

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（事例集）」（令和4年3月） [PDF: 15.7MB]

地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（事例集）は、地方公共団体が、地方公共団体実行計画（区域施策編）を策定（改定を含みます。）及び実施する際に参考となり得る事例を記載しています。
本編の改定に伴い、事例を追加しました。（令和4年3月）

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（簡易版）」（令和6年4月） [PDF: 6.14MB]

地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定に必要な最低限の内容を解説しています。策定の手順及びひな型について整理しました。

（4月1日）地方公共団体実行計画（区域政策編）策定・実施マニュアル（簡易版）（令和6年4月）を改定しました。

[マニュアルの主な改定箇所説明資料（令和6年4月）](#) [PDF: 114KB]

③

地方公共団体実行計画（区域施策編） 策定・実施マニュアル（簡易版）

令和6年4月

環境省

大臣官房 地域脱炭素政策調整担当参事官室



区域施策編を公表している近隣自治体の計画も
ぜひ一読し書きぶりなどの参考にしてください

④



まずは貴市町村における既存の脱炭素やエネルギー関連の取組を整理してください（2／2）

STEP 2

- 「STEP 1」で整理した取組の内、貴市町村にとって特に代表的と考えられる取組を分野ごとに2～4程度を選び、別添「区域施策編（ひな形）」の第1章（5）（P.5～8）の該当する部分に転記し、文章を完成させてください
- 転記する際は、貴市町村で特に重要と思われる取組（優先度が高い取組）から順番に記載してください

関連計画から代表的な取組を確認したり、関連部署の職員（複数年在籍している職員が望ましい）に聞き取り調査を行うなどによって転記する取組を選んでください

別添「区域施策編（ひな形）」

事前課題① 貴市町村における既存の取組を整理する

「エネルギー供給」、「エネルギー需要」、「需要・供給の複合」、「非エネ」、「土地利用・吸収源」、「横断的施策」といった視点から、貴市町村が実施している取組に関する情報を収集・整理してください。

複数の分野に関係するような取り組みについては、最も関連が深いと考えられる分野に記載してください。

以下（黄色セルの箇所）に記入してください。

■エネルギー供給

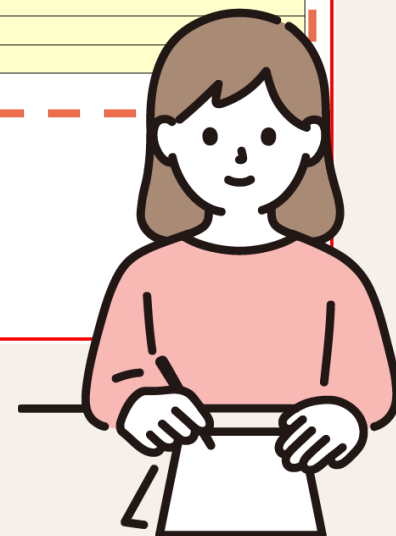
自治体の取り組み内容

（例）

- 再エネの余剰ポテンシャルを有する地域と連携した電力の供給。
- 非常時には地域内の再エネなどから自立的に電力を供給するシステムの構築。
- 太陽光発電や太陽熱利用のポテンシャルを見える化（ソーラーマッピング）。
- 地域資源のエネルギー利用を目的とした木質バイオマス設備の導入補助。
- 海洋温度差発電設備の導入。

※必要に応じて、行は追加してください。

貴市町村における分野ごとの既存の取組が記入された「施策整理シート」と、特に代表的な取組が転記された「区域施策編（ひな形）」（P.5～8）ができましたら、課題①は完了です！



次に、貴市町村の特徴を整理してください（1 / 5）

STEP 1

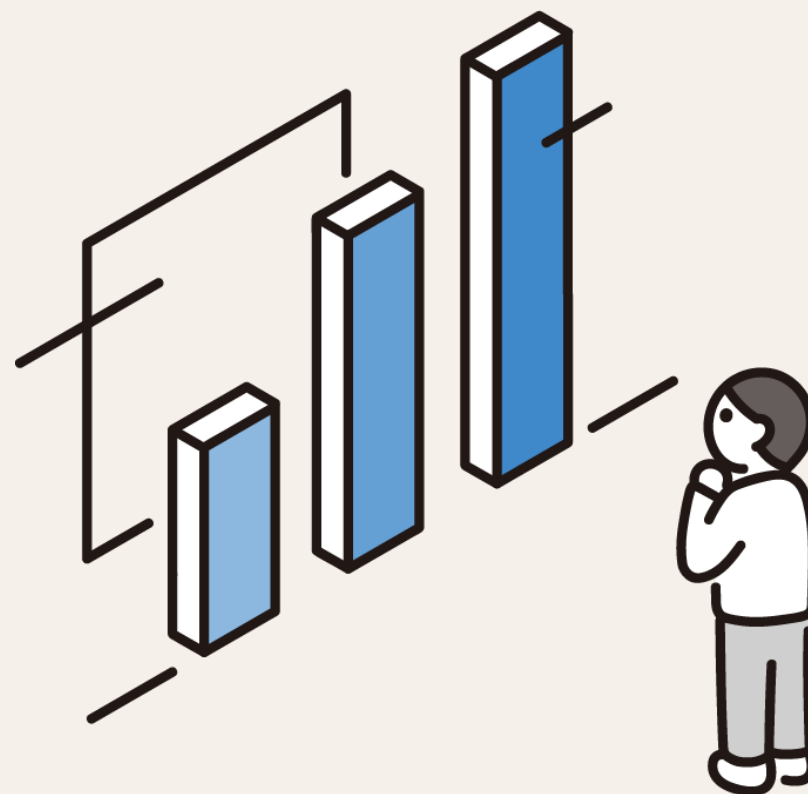
- 以下の調査項目ごとに、必須項目について調べグラフや表に整理した上で、余力があれば貴市町村の特性を踏まえて任意項目から適切な項目を選び、同様に調べて整理してください。
- 項目を整理する際は、次ページに書いてある資料から、該当するグラフや表をコピーし一つのファイルに張り付けてまとめておいてください（STEP 2では「区域施策編（ひな形）」に転記していただきます）

分類	必須項目	任意項目
自然的条件	- 貴市町村の<u>地勢</u> - 貴市町村の<u>気候概況</u>（年平均気温、月別の降水量、月別の日照時間など）	—
社会的条件	貴市町村における<u>年齢3区分別の人口の現状までの推移と将来推計</u>	- 貴市町村における<u>社会増減と自然増減の推移</u> - 貴市町村における<u>世帯数の現状までの推移</u>
経済的条件	貴市町村における<u>産業別</u>（第1次、第2次、第3次）<u>人口の推移</u>	- 貴市町村の<u>製造品出荷額の推移</u> - 貴市町村の<u>産業分類別の従事者数と構成比</u>（最新年度）

貴市町村に関する情報を幅広く整理していた方が、当日は有意義な議論ができますので、可能な方は任意項目や他に区域施策編の策定に活用できそうな項目についても貴市町村の特徴について整理しておいてください

ポイント

- 左記の調査項目に関する情報は、次ページ以降に記載されている資料等を活用して収集してください



次に、貴市町村の特徴を整理してください（2 / 5）

STEP 1（続き）

- 6 ページに記載されている調査項目は、下記の資料やウェブサイトなどを活用して整理してください

資料・ウェブサイト名

- 気象庁「過去の気象データ検索」

その他参考となる資料等

- 貴市町村の景観計画
- 貴市町村の都市計画マスタープラン

自然的条件

検索方法

過去の気象データ検索

各地の気温、降水量、風など

高層の気温、風など

地点と年月日時を選択して、表示するデータの種類を選択してください。検索条件

地点の選択

年月日の選択

地点の選択をクリア



(未選択)

年月日の選択をクリア	年月日の選択をクリア
2024年 2004年 1984年	1月 1日 16日
2023年 2003年 1983年	2月 2日 17日
2022年 2002年 1982年	3月 3日 18日
2021年 2001年 1981年	4月 4日 19日
2020年 2000年 1980年	5月 5日 20日
2019年 1999年 1979年	6月 6日 21日
2018年 1998年 1978年	7月 7日 22日
2017年 1997年 1977年	8月 8日 23日
2016年 1996年 1976年	9月 9日 24日
2015年 1995年	10月 10日 25日
2014年 1994年	11月 11日 26日
2013年 1993年	12月 12日 27日
2012年 1992年	13日 28日
2011年 1991年	14日 29日
2010年 1990年	15日 30日

①

①：「都道府県・地方を選択」から貴市町村を選択してください

③：貴市町村の気温などの平年値をご確認ください

札幌(石狩地方) 平年値(年・月ごとの値) 主要要素

要素	気圧		降水量	気温		
	現地平均 (hPa)	海面平均 (hPa)	合計 (mm)	平均 (°C)	日最高 (°C)	日最低 (°C)
統計期間	1991～2020	1991～2020	1991～2020	1991～2020	1991～2020	1991～2020
資料年数	30	30	30	30	30	30
1月	1009.8	1013.2	108.4	-3.2	-0.4	-6.4
2月	1010.4	1013.7	91.9	-2.7	0.4	-6.2
3月	1009.8	1013.1	77.6	1.1	4.5	-2.4
4月	1008.8	1012.0	54.6	7.3	11.7	3.4
5月	1007.4	1010.6	55.5	13.0	17.9	9.0
6月	1005.9	1009.0	60.4	17.0	21.8	13.4
7月	1005.3	1008.3	90.7	21.1	25.4	17.9
8月	1006.9	1009.9	126.8	22.3	26.4	19.1
9月	1010.3	1013.4	142.2	18.6	22.8	14.8
10月	1012.6	1015.8	109.9	12.1	16.4	8.0
11月	1012.6	1015.9	113.8	5.2	8.7	1.6
12月	1010.7	1014.1	114.5	-0.9	2.0	-4.0
年	1009.2	1012.4	1146.1	9.2	13.1	5.7

③

データの種類

年 年ごとの値を表示

3か月ごとの値を表示
(年を指定してください)

月 観測開始からの月ごとの値を表示

月ごとの値を表示
(年を指定してください)

旬ごとの値を表示
(年を指定してください)

半旬ごとの値を表示
(年を指定してください)

年・月 年・月ごとの平年値を表示

3か月ごとの平年値を表示

旬ごとの平年値を表示

半旬ごとの平年値を表示

日ごとの平年値を表示
(月を指定してください)

霜・雪・結氷の初終日と初冠雪日の平年値を表示

②

②：「年・月ごとの平年値を表示」を開いてください

URL：<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>



次に、貴市町村の特徴を整理してください（3 / 5）

STEP 1（続き）

- 6 ページに記載されている調査項目は、下記の資料やウェブサイトなどを活用して整理してください

資料・ウェブサイト名

- RESAS（地域経済分析システム）

その他参考となる資料等

- 国立社会保障・人口問題研究所
- 国勢調査
- 貴市町村が位置する都道府県の統計情報
- 貴市町村の統計情報

社会的条件

検索方法

①

①：「地域を選択する」から貴市町村を選択し、「一括サマリーデータ生成」を押してください

サマリー表示地域を選択

地域を選択する ※必須

合併地域を選択する ※任意 最大30件まで

比較地域を選択する ※任意 範囲「人口」メニューは最大30件まで、その他メニューは1件まで

マニュアル

サマリー版操作マニュアル *

一括サマリーデータ生成

②：自動的にダウンロードされるファイル（ZIP）を開き、貴市町村の人口や地域経済などに関する項目をご確認ください

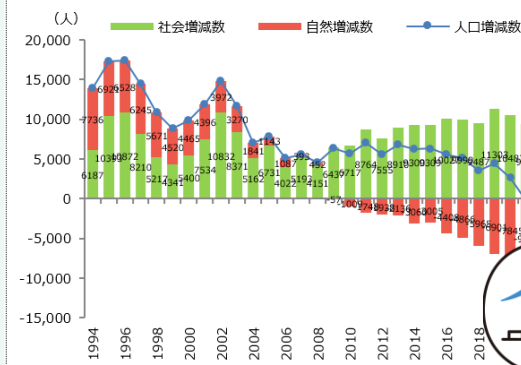
URL：<https://summary.resas.go.jp/summary.html>

③自然増減・社会増減の推移

人口マップ>人口増減 → ③「ダッシュボード」

②

・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。



次に、貴市町村の特徴を整理してください（4 / 5）

STEP 1（続き）

- 6 ページに記載されている調査項目は、下記の資料やウェブサイトなどを活用して整理してください

資料・ウェブサイト名

- 環境省「地域経済循環分析」

その他参考となる資料等

- 経済センサス・工業統計調査
- 貴市町村が位置する都道府県の統計情報
- 貴市町村の統計情報

経済的
条件

※③のファイルを作成するためには、Office365（Word, Excel, PPTなど）のアプリケーションを一旦閉じる必要がありますので、ご注意ください

検索方法

地域経済の“今” 地域経済循環分析自動作成ツール

各市区町村のお金の流れ、産業間の取引関係など
経済循環構造の分析レポートが出力されます。

分析ツール

> 2020年試行版Ver.7.0(zip73.4MB)

> 2018年版Ver.7.0(zip72.7MB)

> 2015年版Ver.7.0(zip71.9MB)

> 2013年版Ver.7.0(zip71.4MB)

> 2010年版Ver.7.0(zip70.6MB)

①

①：「地域経済の“今” 地域経済循環分析自動作成ツール」を開き、「2020年試行版 Ver.7.0」のZipファイルをダウンロードしてください

地域の所得循環構造



③

③：自動的にPPTファイルが作成されますので、完了まで5分ほどお待ちください。完了しましたら、「地域の所得循環構造」(P7)や「エネルギー収支の分析」(P48)で貴市町村におけるエネルギー代金支払いによる地域外への資金流出などをご確認ください

環境省 地域経済循環分析システム - 市区町村の設定

STEP1: 分析対象の地域(地方、都道府県、市区町村)をクリックしてください

地方の選択
☒ 北海道
☐ 東北
☐ 関東
☐ 中部・北陸
☐ 近畿
☐ 中国・四国
☐ 九州

都道府県の選択
☒ 北海道

市区町村の選択
☒ 札幌市
☐ 帯広市
☐ 苫小牧市
☐ 函館市
☐ 北見市
☐ 稚内市
☐ 小樽市
☐ 夕張市
☐ 美唄市
☐ 旭川市
☐ 岩見沢市
☐ 網走市
☐ 紋走市
☐ 江別市
☐ 赤平市

全て選択
クリア

選択された市区町村一覧表
札幌市

STEP2: STEP1で選択した地域名を地域名称欄に入力してください。
地域名称: 札幌市

STEP3: 「計算」ボタンをクリックしてください。
計算 キャンセル

②

②：Zipファイル内の「StartPro2020.exe」のファイルを開き、「地域経済循環分析ファイルの作成」を選択した上で、ご自身の自治体を選択し、「計算」を押してください

必要に応じてその他の項目もご確認・ご活用ください



URL: <https://chiikijunkan.env.go.jp/manabu/bunseki/>

次に、「自治体排出量カルテ」を活用して、 貴市町村のCO2排出量の傾向を把握してください（1 / 3）

STEP 1

- 下記のURLから貴市町村の「自治体排出量カルテ」をダウンロードし、「①CO2排出量の現状把握」のシートを開き、貴市町村において排出量が多い部門、その経年変化の傾向等を把握してください。

URL : https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/karte.html



ポイント

- 「自治体排出量カルテ」は、以下の手順でダウンロードしてください



- (1) 「自治体排出量カルテ」のHPを下にスクロールし、「各団体ダウンロード」の部分を表示してください
- (2) 貴市町村が位置する都道府県をドロップダウンリストから選択した上で、貴市町村をその隣のドロップダウンリストから選択し、「決定」を押してください
- (3) 表示される2つのファイルから「EXCEL」を選択し、ダウンロードしてください

貴市町村の「自治体排出量カルテ」の読み方については、
次ページをご参照ください

「自治体排出量カルテ」HP



自治体排出量カルテ

全国版

[全国版\[EXCEL : 1.6MB\]](#)

[全国版\[PDF : 1.23MB\]](#)

※ここでの全国値は、都道府県別エネルギー消費統計等をベースとした全市町村別の現状推計の排出量を足上げた値であり、我が国の温室効果ガス排出インベントリに記載される排出量に必ずしも一致しない点にご留意ください。

各団体ダウンロード

(1)

自治体排出量カルテのダウンロードの手順は、以下のとおりです。

- (1) 都道府県の担当の方は、都道府県のプルダウンを選択してください
市町村の担当の方は、都道府県のプルダウンと市町村のプルダウンを選択してください。
- (2) 決定ボタンを押すと、該当する排出量カルテのEXCELファイル、PDFファイルが表示されます。

東京都 千代田区 決定

(2)

13101 東京都 千代田区 [EXCEL : 1.38 MB]

(3)

千代田区 [PDF : 1.2 MB]

次に、「自治体排出量カルテ」を活用して、 貴市町村のCO2排出量の傾向を把握してください（2 / 3）



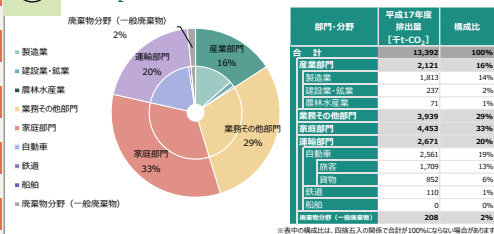
STEP 1（続き）

- 貴市町村の「自治体排出量カルテ」で「①CO2排出量の現状把握」のシートを開き、以下の項目をご確認ください。

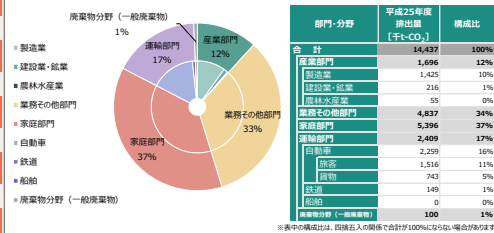
自治体排出量カルテ① CO₂排出量の現状把握

札幌市

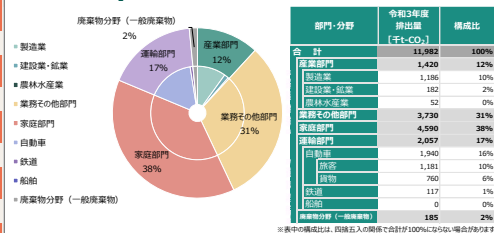
① 共同体の部門・分野別CO₂排出量（標準的手法）

分野別CO₂排出量構成比 平成17年度（2005年度）

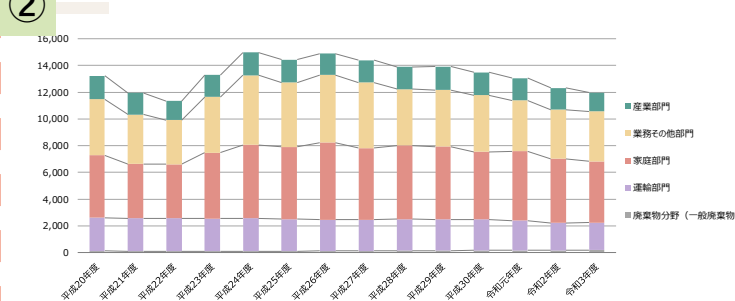
2) 部門・分野別CO₂排出量構成比 平成25年度（2013年度）



3) 部門・分野別CO₂排出量構成比 令和3年度（2021年度）



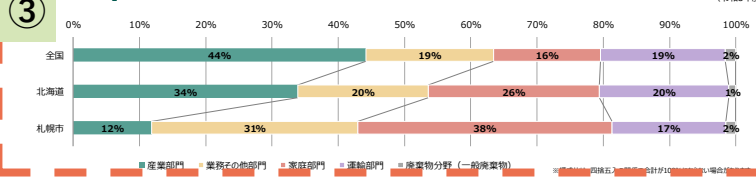
② 分野別CO₂排出量の推移



部門・分野	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	13,227	11,943	11,357	13,390	14,974	14,437	14,903	14,399	13,898	13,916	13,499	13,045	12,331	11,982
産業部門	1,747	1,604	1,435	1,642	1,709	1,696	1,600	1,662	1,666	1,755	1,709	1,659	1,630	1,420
建設業	1,496	1,373	1,324	1,348	1,386	1,425	1,330	1,398	1,407	1,499	1,472	1,435	1,384	1,186
製造業・鉱業	181	159	105	232	281	216	208	200	188	192	179	166	185	182
農林水産業	66	72	66	61	62	55	62	65	70	63	58	58	57	52
業務その他部門	4,199	3,703	3,315	4,187	5,201	4,837	5,079	4,914	4,213	4,225	4,246	3,809	3,693	3,730
家庭部門	4,685	4,071	4,049	4,935	5,507	5,396	5,772	5,371	5,518	5,456	5,071	5,185	4,796	4,590
自動車	2,488	2,467	2,471	2,440	2,455	2,409	2,345	2,340	2,363	2,345	2,310	2,234	2,088	2,057
船舶	2,373	2,357	2,355	2,356	2,338	2,259	2,201	2,199	2,226	2,211	2,186	2,113	1,942	1,940
鉄道	1,569	1,589	1,583	1,563	1,566	1,516	1,451	1,447	1,444	1,430	1,409	1,374	1,210	1,181
航空	804	768	773	743	742	743	750	751	782	781	778	739	733	760
バス	115	110	115	134	146	149	144	141	138	133	124	121	116	117
自転車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物分野（一般廃棄物）	109	98	88	96	103	100	107	112	137	135	163	158	154	185

※表中の構成比は、四捨五入の關係で合計が100%にならない場合があります。

③ 分野別CO₂排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）



①

部門・分野別
CO₂排出量

②

CO₂排出量
の推移

③

都道府県・
全国との比較

- この項目では、貴市町村における部門・分野別のCO₂排出量とその構成比と推移（2005年度、2013年度、2021年度）を確認できます

- この項目では、貴市町村における部門・分野別のCO₂排出量と総排出量の推移（2008年度～2021年度）を確認できます

- この項目では、最新年度（2021年度）における貴市町村、貴市町村が位置する都道府県、全国の部門・分野別排出量構成比を比較できます。

次に、「自治体排出量カルテ」を活用して、 貴市町村のCO2排出量の傾向を把握してください（3 / 3）

STEP 2

- 「STEP 1」で収集・整理したデータを、別添「区域施策編（ひな形）」の第4章2（P.20～22）の該当部分に転記し、グラフや図表の上部に排出量の傾向等のデータから読み取った内容を整理して記入してください。



該当する表・グラフなどが転記され、文章が完成した「区域施策編（ひな形）」（P.20～22）ができましたら、課題③は完了です！

研修当日は、参加者全市町村分の「自治体排出量カルテ」がダウンロードされたパソコンを利用しますので、持参する必要はありません

別添「区域施策編（ひな形）」

2. ●●市町村の温室効果ガスの現況推計

事前課題③ 自身の自治体のCO2排出量の傾向を把握する

「地方公共団体実行計画策定・実施支援サイト」の「自治体排出量カルテ」をダウンロードし、貴市町村の排出量について、下記の図表を差し替えてください。

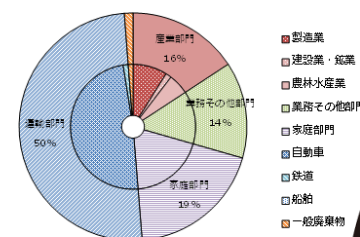
また、排出量が多い部門、その経年変化の傾向等を把握し、以下（黄色セルの箇所）に記入してください。

（1）最新年度の温室効果ガスの推計結果

●●市町村では、環境省が地方公共団体実行計画策定・実施支援サイトにて毎年度公表している「自治体排出量カルテ」に掲載された値を基に、区域施策編が対象とする部門・分野の温室効果ガスの現況推計を行いました。

現況推計結果は以下のとおりです。

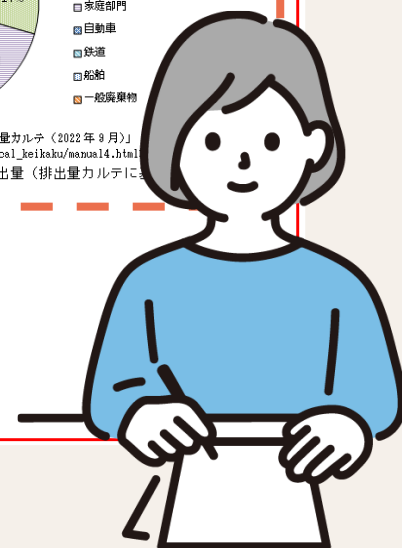
●●市町村では、●●部門からの排出量が●●%で最も多く、次いで●●部門からの排出量が●●%、●●部門からの排出量が●●%の順が多かったです。



出典：環境省「【データ】自治体排出量カルテ（2022年9月）」

<https://www.env.go.jp/policy/loal_keikaku/manual4.html>

図▲ ●●市町村における部門別排出量（排出量カルテ）



最後に、下記の**事前アンケート**にご回答ください



URL :

当日はどうぞよろしくお願いいたします。

質問等ございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください：

余力があれば、以下の追加課題もご対応ください（1 / 2）

追加課題①

- 貴市町村が位置する都道府県の環境基本計画などから、「**基準年度の排出量**」、「**目標年度の排出量**」等の情報を検索し、別添「**区域施策編（ひな形）**」の第1章2（3）（P4）と第4章4（P19）に転記してください。

ポイント

基準年度の排出量

- CO2排出量の推移を計算するにあたって、排出量を比較するための基準年度（●年と比べて増加・現象）を設定する必要があります。
- 都道府県によって異なりますが、2013年度を基準年度とすることが一般的です。
- 自身の都道府県の環境基本計画や再エネ導入戦略などを検索し、その中の排出量の推移や将来推計に関する項目で確認しましょう。

目標年度の排出量

- 目標年度の排出量は目標年度（2030年度、2050年度）までに基準年度と比べてどの程度の排出量削減を目指すかを示すものです。
- 2030年までに46%削減、2050年までに実質ゼロの目標設定が最も多いですが、自身の都道府県の目標も確認し把握しましょう。

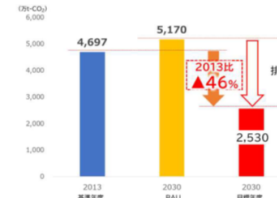
別添「区域施策編（ひな形）」

追加課題① 都道府県の動向を把握する

貴市町村が属する都道府県における、「基準年度の排出量」、「目標年度の排出量」等の情報を検索し、下記に掲載してください。

（4）地球温暖化対策を巡る●●県の動向

●●県では、●●県環境基本計画（2021～2030年度）を●●年●月に策定し、2050年までに●●県内のCO2排出量を実質ゼロとする最終目標を掲げ、中間目標として、2030年度までに県内の温室効果ガス排出量の●●%削減を目指すこととしています。



出典：●●県「環境基本計画」

<https://www.●●>

図▲（例）●●県環境基本計画における2030年度の部門別削減目標

表▲（例）●●県環境基本計画における2030年度の部門別削減目標

項目(注1)	2013年度 (基準年度)		2030年度(目標年度)						
	A	B	BAU	気候政策の 影響を反映	気候政策の 影響を反映 と削減 効果	削減 効果と削減 効果	削減 効果と削減 効果	2013年度比 削減率	2013年度比 削減率
			C	D	E(C+D)	F(B-E)	G(A-F)	H(G/A)	
産業部門	998	1,144	262	361	623	521	477	47.8%	
業務その他部門	1,022	1,075	186	435	621	454	568	55.6%	
家庭部門	1,116	1,244	202	525	727	517	599	53.7%	
運輸部門	966	981	295	25	320	661	305	31.6%	
農業林漁業部門	116	116	51	51	65	51	51	44.0%	
工業プロセス	251	216	3		3	213	38	15.1%	
その他温室効果ガス	228	394	295		295	99	129	56.6%	
合計	4,697	5,170	1,294	1,346	2,640	2,530	2,167	46.1%	

※ 1）農業林漁業にはCO2及びCH4が含まれます。 ※ 2）その他温室効果ガスには温室効果ガス削減率を示します。

出典：●●県「環境基本計画」

<https://www.●●>

第4章 温室効果ガス排出量の推計

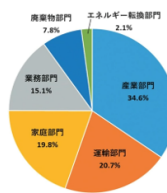
1. ●●県の温室効果ガス排出量

追加課題① 都道府県の動向を把握する

貴市町村が属する都道府県における、「最新年度の排出量」（貴市町村の最新年度と年度を併せてください）を検索し、下記の図表を差し替えてください。

●●県における温室効果ガス排出量（2017年度）の構成は、産業部門が3割以上を占め、次いで運輸、家庭、業務部門となっています（図▲）。

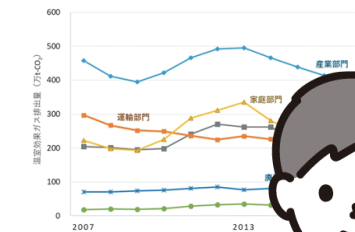
各部門の温室効果ガス排出量の推移は図▲のとおりです。



出典：●●県

<https://●●>

図▲ ●●県の温室効果ガス排出量（2017年度）の構成



出典：●●県

<https://●●>

図▲ ●●県の部門別排出量の推移

余力があれば、以下の追加課題もご対応ください（２／２）

別添「区域施策編（ひな形）」

追加課題② 地域の課題を把握する

自治体で抱えている地域課題について検討し、以下（黄色セルの箇所）に記入してください。参考例等も参照の上、複数列举してください。

地域の課題	内容
(参考例)	
・農地の獣害被害の増加	⇒イノシシ等による被害の相談件数(苦情)が増加傾向
・少子高齢化、若者の地域外流出による労働人口の減少	⇒●●市町村統計書において統計就業人口数が減少傾向
・企業経営者の後継者不足	⇒黒字企業含めた企業の倒産件数が増加傾向
・地域コミュニティの弱体化	⇒地域のイベント開催数、規模等が縮小傾向
・空き家の増加に伴う防犯面の懸念、増、景観の悪化	⇒●●市町村統計書において空き家軒数が増加傾向
・公共工事の減少による雇用機会の縮減	⇒財源不足による公共工事の発注件数、発注金額(総額)が減少
・観光施設等の老朽化による観光者の減少	⇒●●の観光施設(宿泊施設)は築●●年で老朽化が目立ち、●●市町村統計書において観光者数が減少傾向
・公共交通機関の減便による移動手段の不便	⇒路線バスの●●区間が、令和●●年に廃線(企業の撤退)
・豪雨による被害の増加	⇒令和●●年豪雨で停電が発生し、復旧に時間がかかった。 ⇒土砂災害の被害件数が増加傾向、●●市町村統計書において、森林整備面積が減少傾向

※「以外」で構いません。
※ありません。

追加課題②

- 貴市町村が抱えている地域課題について検討し、別添「区域施策編（ひな形）」の第１章２（５）（P9）に記入してください。

ポイント

「地域課題」とは？

- 地域課題とは、自治体が経済・社会・自然などの面で抱える課題のことです。少子高齢化、森林面積の減少、自然災害、空き家の増加などといったような課題が考えられます。

地域課題と脱炭素化の関係は？

- 脱炭素を成長の機会と捉える今の時代では、地域が主役となる、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する地域脱炭素が求められています。つまり、各市町村が再エネ等の地域資源を最大限活用し地域の脱炭素化を推進しつつ、地域の経済を循環させ、防災や暮らしの質の向上を図り、地域課題の同時解決も図ることが重要です。
- そのため、脱炭素の施策を検討する際に、自身の自治体が抱えている地域課題は何か、それらをどのように脱炭素化を通じて解決できるか、なども考慮することが重要です。
- 余力のある貴市町村はぜひ、事前課題として課題②で整理した貴市町村の特徴に関する情報や、貴市町村の既存の計画等を基に、貴市町村にとって何が課題となっているかについて検討し、「区域施策編（ひな形）」に追記しましょう。

地球温暖化等に関する課題以外の課題も含めても構いません